

<資料>



AEDの使い方

(参考：日本AED財団 画像提供：大阪ライフサポート協会)



公衆電話の使い方

(総務省HPより)

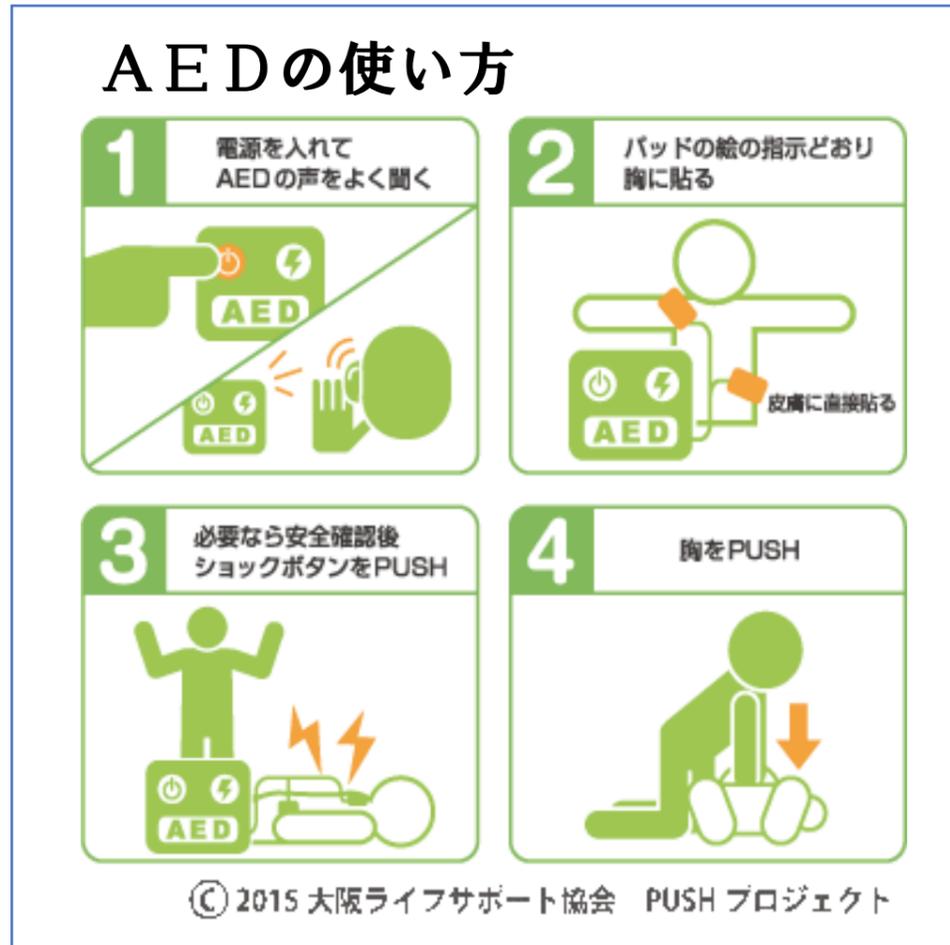
救急車が
来るまでに
できること

反応を確認して、

- ① 応援を呼ぶ。
・ 119番と
AEDをたのむ。
- ② 心肺蘇生をする。
- ③ AEDを使う。



© 2015 大阪ライフサポート協会 PUSH プロジェクト



公衆電話の特徴と使用方法

公衆電話の特徴

公衆電話は、以下の2つの特徴を有することから、災害等緊急時における有効な通信手段となっています。

①災害時優先電話	公衆電話は、災害等の緊急時において電話が混み合い、通信規制が実施される場合であっても、通信規制の対象外として優先的に取り扱われます。
②通信ビルからの給電	公衆電話は、NTT東日本・NTT西日本の通信ビルから電話回線を通じて電力の供給を受けているため、停電時でも電話をかけることができます。

公衆電話の使用方法

公衆電話には、アナログ公衆電話とデジタル公衆電話の2種類があります。両者間で通常時の使用方法に違いはありませんが、停電時や無料化された際の使用方法は異なります。

	デジタル公衆電話	アナログ公衆電話
機種外観		
通常時の使用方法	受話器を上げ、硬貨又はテレホンカードを投入し、電話番号をダイヤルします。	
緊急通報の使用方法*1	硬貨やテレホンカードは不要です。受話器を上げ、そのまま110番等を押しします。	硬貨やテレホンカードは不要です。受話器を上げ、緊急通報ボタンを押した後、110番等を押しします。
停電時の使用方法*2	【液晶ディスプレイが消えています】基本的に通常時と同様です。ただし、テレホンカードは使用できません。 ※同一場所に複数台設置されている場合、停電時に稼働していない電話機もあります。	【赤いランプが消えています】基本的に通常時と同様です。ただし、テレホンカードは使用できません。
無料化措置時の使用方法(災害発生時等)*3	硬貨やテレホンカードは不要です。受話器を上げ、そのまま電話番号をダイヤルします。	受話器を上げ、硬貨又はテレホンカードをいったん投入し、電話番号をダイヤルします。通話終了後、硬貨又はテレホンカードはそのまま返却されます。

※1 110(警察)、118(海上保安)、119(消防、救急)への通話方法となります。
※2 グレーのデジタル公衆電話機についてはバッテリーを搭載していますが、バッテリー消耗後は硬貨も使用できなくなります。
※3 災害救助法が適用される規模の災害が発生し、かつ広域停電が発生するなど被災者の方々の通話を確保することが必要とNTT東日本・NTT西日本が判断した場合には公衆電話からの通話を無料とすることがあります。